

# メールは相手を確認すべし!

## ～サイバー犯罪被害防止の合い言葉「き・あ・い」で被害防止～

世界各国において、新型コロナウイルスウィルス感染者が報告され、国内でも毎日のように新たな感染者が報告されています。

世の中がこのような状況になると、必ずそれに乗じて悪いことを考える者が出てきます。

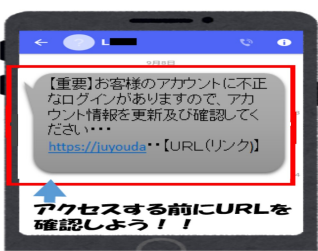
今回は、このような時こそ冷静に考え、特にメールから始まるサイバー犯罪被害に遭わないようにするためのお話です。

合い言葉は、サブタイトルのとおり、「**き・あ・い**」です。

もちろん「**き**」も大切です、今回の場合は、

「**き**」・興味をひくメール  
「**あ**」・慌てさせるメール  
「**い**」・急がせるメール

という意味で、このような内容のメールが届いたら、要注意という事です。



アクセスする前にURLを確認しよう!!

# サイバー瓦版



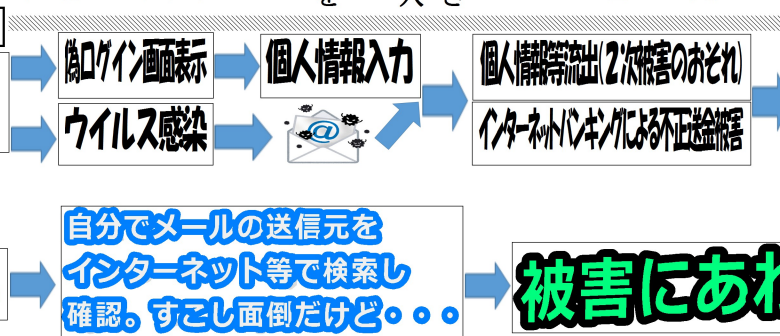
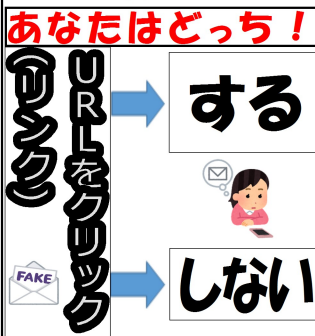
岡山県警察本部  
サイバー犯罪  
対策課発行  
086(234)0110  
phightech@pref.okayama.jp

## 要注意! 特殊詐欺は電話から! サイバー犯罪はメールから!

「マスクを無料配布」等の新型コロナウイルスウィルス関連もそうですが、それ以外にも「荷物が届いている」「アカウント等のセキュリティの更新」「スマホが今なら無料で」など、悪者は人の心理につけ込み、URL(リンク)付きのメールを送り付け、メール(SMSを含む)に添付のURL(リンク)やファイルをクリックさせようとする。偽サイトへ誘導したり、ウィルスに感染させたりして個人情報やIDパスワードを入手しようとする。

● 入手した情報を使って口座から不正送金をしたり商売を購入しようなどと考えているのです。

したがって、身に覚えのないメールは無視するのが一番ですが、不正なものかの判断が難しい場合には、メールに添付のURL(リンク)はクリックせず、ネットの検索サイトで送信元の会社名等を検索して、本当にこのようなメールを送信しているのかどうかを確認するとともに、普段使っているブラウザのブックマークや検索サイトから目的のウェブサイトに接続するよう心掛けてください。



金銭的な被害を受けたり  
各種停止手続きをしたり  
する必要があって大変!

被害にあわない

「あくまで社外なので第三者が介入できる隙がどうしてもある」といふので。

それは、ズバリ、  
「あくまで社外なので第三者が介入できる隙がどうしてもある」といふので。

新型コロナウイルスの關係で外出が自粛になって、感染予防対策としてテレワークが活用されているよね。

### なごの新キャラ アケミの解説

初めまして! 車詣相談員二代目のアケミです。

あれつう相談員アツオはどしたの? と思っただけ、すでにサイバー瓦版の上級者ですね。今回からはアケミが解説します。

課長のつぶやき

新型コロナウイルスに感染しないためのテレワークで、パソコンがウィルス感染なんて...。パソコンにもしっかりとマスク(対策ソフト)をしておこう...

サイバー犯罪対策課長も二代目となりました。今年も瓦版を随時発行していきますので、よろしくお願ひします。

★テレワーク★  
ですから、

- ①パソコン等のOSやウィルス対策ソフトを更新する
- ②通信が暗号化されていない無料ワイファイスポットは避ける
- ③自宅のルーターの管理用IDパスワードを初期設定のままにしない

などのセキュリティ対策で安全にテレワークを活用しましょうね。

マスク(対策)は大事